

	調査・研究名	調査・研究結果	示唆される影響
教育費の負担感	<p>新谷由里子「親の教育費負担意識と少子化」国立社会保障・人口問題研究所『「人口問題研究61-3 特集：少子化の新局面とその背景』(2005)</p> <p>〔 少子化に関する自治体調査(少子化研究会)の個表データを分析 〕</p>	<p>・ 予定子ども数以上の子どもを持たない理由として教育費負担感(「教育費がかかりすぎ、子ども一人一人に十分お金をかけてあげられなくなるから」)をあげる者は、出生年代別に見ると若い世代ほど多く、予定子ども数別に見るとすべての出生年代で予定子ども数2人とする者のところで割合が高くなっている。</p> <p>(1970年以降生まれでは、予定子ども数が0人、1人とする者についても割合が高くなっている。)</p> <p>→図11 教育費の負担感と出産意欲</p>	<p>出産(特に第2子以降)</p>